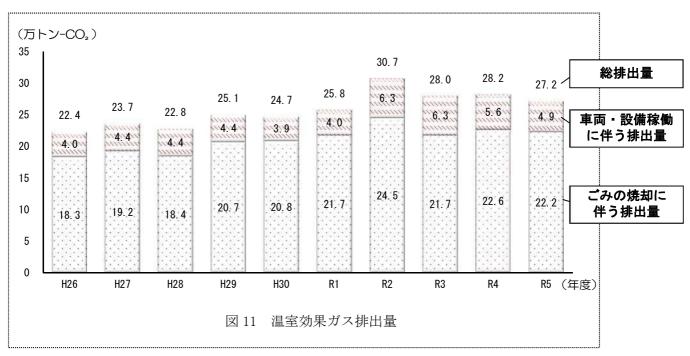
# 第2章 ごみ処理・資源収集等に伴う環境負荷と処理コスト

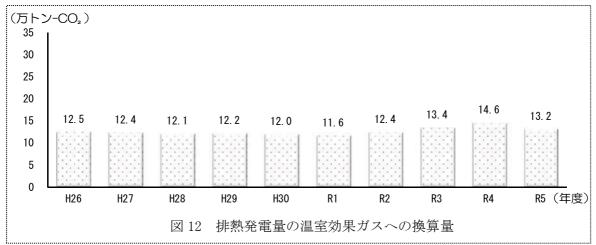
## 1 ごみ処理事業における温室効果ガス排出量等

#### (1) ごみ処理事業における温室効果ガス排出量



ごみ処理業における温室効果ガスの排出は、ごみの焼却や車両・設備稼働により発生して おり、大半がプラスチック類の焼却に伴い発生する二酸化炭素です。

### (2) 焼却工場における熱エネルギーの有効利用



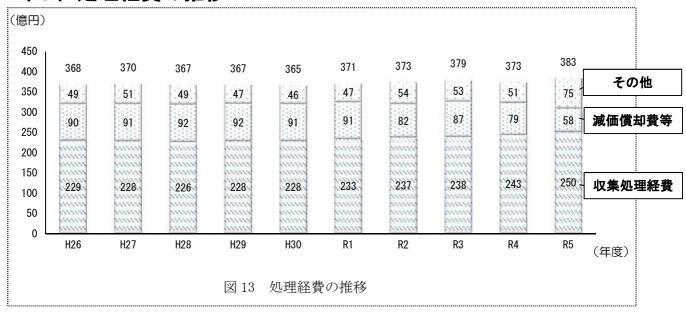
焼却工場では、ごみを処理するだけではなく、焼却時に発生する熱エネルギーの有効利用 により発電しており、この電気は工場内や周辺施設で使用するほか、余剰分は売却していま す。

上のグラフは、焼却工場の発電により、電気事業者が発電に伴って排出するはずであった 温室効果ガスの抑制に寄与したと考えられる量を表したものです。

図11 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

# 2 ごみ処理・資源収集等に伴うコスト

#### (1)処理経費の推移



ごみ処理・資源化事業に伴う経費の推移は以上のとおりです。

#### (2)ごみ・資源の処理原価(令和5年度)

(千円/トン)

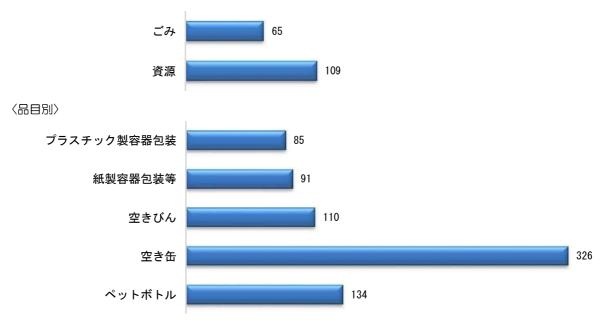


図 14 ごみ・資源の処理原価

令和 5(2023)年度のごみ・資源の処理原価は以上のとおりです。

図13 ①四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

図14 ①処理原価とは、1トン当たりの処理経費を算出したもの。 ②原価要素として、人件費、物件費、減価償却費、起債利子を算出している。